

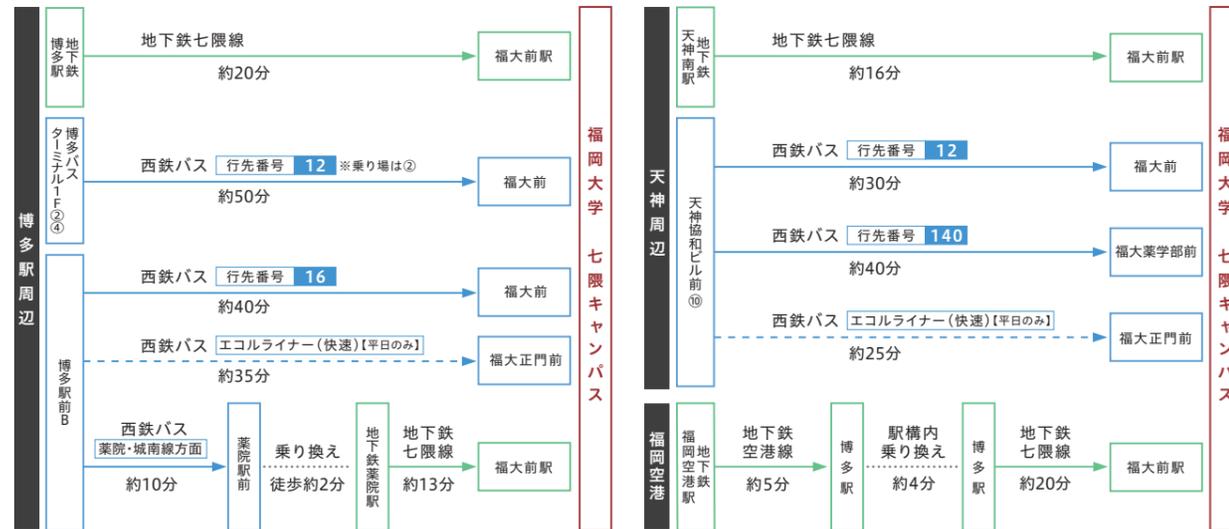


Faculty of Pharmaceutical Sciences

# 福岡大学アクセスマップ



## 交通案内



※時間帯によって交通混雑が予想されますので、所要時間は目安としてください。  
 ※バスの行先番号が同じでも行先が異なることがありますので、バス正面の行先(経由地)をご確認ください。  
 ※公共交通機関の運行状況に変更が生じる場合があります。最新の情報は、以下ウェブサイト等からご確認ください。  
 ●地下鉄に関する情報……福岡市交通局 <https://subway.city.fukuoka.lg.jp/>  
 ●バスに関する情報……西鉄バス <http://www.nishitetsu.jp/bus/>

### [高速道路]

**唐津方面からの場合**  
 西九州自動車道(福岡前原道路)から都市高速道路環状線に入ります。野芥ランプで降りた後、福大トンネル出入口の手前を右折し、梅林中学校入口を左折します。500mほど直進した後、福岡大学病院東口交差点を直進します。

**北九州および福岡県外(大分・熊本方面など)からの場合**  
 九州自動車道の太宰府IC(インターチェンジ)から都市高速道路に乗り、月隈JCT(ジャンクション)を左折します。堤ランプで降り、国道202号線(福岡外環状道路)を2kmほど直進して福大トンネル出入口手前から右折し、福岡大学病院東口交差点を右に入ります。

# 福岡大学 薬学部

薬学 科



# Responsibility

人の命に関わるという責任

薬を管理・説明し、薬の相談に乗る



## 薬学部からの お知らせ

### 「クリニカルファーマシスト養成プログラム がん薬物治療学コース」を 2024年度から開講

- がん薬物療法に関する実践的な知識を有した、薬剤師免許取得後早期に活躍できる臨床薬剤師の養成を目指すコースです。
- このコースでは薬学科で通常履修する科目以外にも医療現場に則した特徴的ながん関連科目を開講し、コース修了生の中からがん分野の専門・認定薬剤師を数多く輩出することを目標としています。

※本コースを修了しても、専門・認定薬剤師になるには一定期間の実務経験が必要です。

## Contents 目次

学部長メッセージ	01
薬学科紹介	02
2024年度からの新カリキュラム	04
“クリニカルファーマシスト養成プログラム” 「がん薬物治療学コース」	08
研究室・附属施設	10
学修支援	12
資格・就職先	13
Q&A	14
大学院 薬学研究科	16
入学者選抜概要	17

## Three Policies 三つのポリシー

### 人材養成の目的「三つのポリシー」

- アドミッション・ポリシー（AP）（入学者受け入れの方針）
- カリキュラム・ポリシー（CP）（教育課程編成・実施の方針）
- ディプロマ・ポリシー（DP）（学位授与の方針）

薬学部の詳細は以下のQRコードから(公式ウェブサイト)

▼ AP



▼ CP



▼ DP



## 基礎から臨床までバランスのとれた薬学教育

低学年次に基礎的な科目を、高学年次に専門性の高い科目を配置し、薬学教育の三つの要素である基礎・創薬科学、医療・臨床薬学、衛生薬学を学びます。

## 充実した施設での実務実習事前学習や 薬学共用試験の実施

薬学部棟17号館で実務実習事前学習や薬学共用試験を行います。

## 大学病院、薬剤師会との連携による実務実習で チーム医療を体感

三つの附属病院のうち、本学部では、福岡大学病院・福岡大学筑紫病院・福岡大学西新病院での実務実習があります。大学近くには福岡市薬剤師会薬局もあり、チーム医療を体感できる環境が充実しています。現場の薬剤部長が薬学部教員であり、臨床現場に即した教育が実施されています。

## 薬学の先端的研究に触れるとともに 人間性を育成

卒業研究では、所属する研究室において薬学関連の先端的研究に触れるとともに、少人数ごとに教員と接することで、医療人としての人間性を育成します。

## 充実した卒業教育

卒業教育として、卒業生等を対象とした年2回の公開講座を開講しています。

## Message 学部長メッセージ

### 高度な薬物療法を実践でき、 時代の変化に対応できる次世代薬剤師の育成

薬学部長 松末 公彦 MATSUSUE Kimihiko



福岡大学薬学部の薬学教育は大きく進化します。

令和4年度、全国6年制薬学部に通じた教育方針である薬学教育モデル・コア・カリキュラムが改定され、これに準拠するため本学部では、大幅な教育カリキュラムの改正を実施しました。

この新しいカリキュラムは、実践的な薬物療法や感染制御を学ぶための臨床系演習科目、医療倫理やコミュニケーション能力を強化するためのアクティブラーニング科目の増強、急速なAI・デジタル化が進む医療業界に適応するための情報処理科目の新設などが特長です。さらに、薬学部創設以来初めての試みとして、がん薬物療法に特化した“がん薬物治療学コース”を設置しました。こ

のコースは通常の薬剤師国家試験の受験に必要な科目に加えて、付加的にがん薬物療法に必要な知識・技能を、講義・演習・実習形式で体系的に学ぶことができます。福岡大学薬学部において、これらの新しいカリキュラムや特別コースを通じて学ぶことで、将来的に“がん薬物療法に強い”や“コミュニケーション能力が高い”のような独自性のある医療人に成長できると考えています。

福岡大学薬学部は歴史ある学部でありながら、常により良いものを求め、そのための変化を惜しみません。本学で共に学ぶことにより、多様な時代の変化にも柔軟に対応でき、臨床現場で生涯に渡って活躍できる薬剤師や医療人を目指しましょう。

## 福岡大学薬学部 LINE公式アカウント はじめました



QRコードで登録



福岡大学薬学部の最新情報をお知らせします！

もっと知って！福岡大学薬学部！

# 薬学科

Department of Pharmaceutics

## 基礎的・臨床的な先端医療研究を土台とする6年制薬学教育 医療人として、社会から真に信頼される薬剤師となるために

医療技術の高度化や創薬につながる科学の進歩、医薬分業の進展などを背景に、薬剤師が担う使命は大きくなり続けています。これらを踏まえ本学薬学科では、「医薬品の開発や安全使用に関する基礎的・臨床的先端研究の推進をもって、国民の健康と福祉に貢献すること」を理念とする6年制薬学教育を実施しており、アドミッションポリシーに掲げる人材の入学を求めています。

### 福岡大学薬学部の成果

薬剤師国家試験合格率 **91%**

福岡大学薬学部における薬剤師国家試験の合格率です(過去5年間の新卒者合格率の平均)。国家試験は年々難化していると言われていますが、安定した高い合格率を保っています。

就職率 **100%**

福岡大学薬学部において薬剤師国家試験に合格した学生の卒業時点での就職率です(2024年3月卒業)。福岡大学薬学部はこれまでに、1万3千人以上の卒業生を輩出しています。同窓会の結束が固く、就職後も各業界で活躍している先輩方による手厚いサポートが受けられます。

ストレート卒業率 **85%**

福岡大学薬学部に入學してから6年次まで、留年せずにストレートで卒業できた学生の割合です(2023年度)。九州の私立大学薬学部中ではトップの値であり、全国的にも上位に位置しています。福岡大学薬学部の質の高い教育力の証です。

卒業生の福岡大学薬学部に対する満足度 **96%**

卒業生に対するアンケートの結果、「福岡大学薬学部に進学してよかった」と回答した卒業生の割合です(過去3年間の平均)。アンケート実施以来、90%を下回ったことはありません。学生の高い満足度は、薬学部全職員の誉れです。

### アドミッションポリシー(求める人材像)

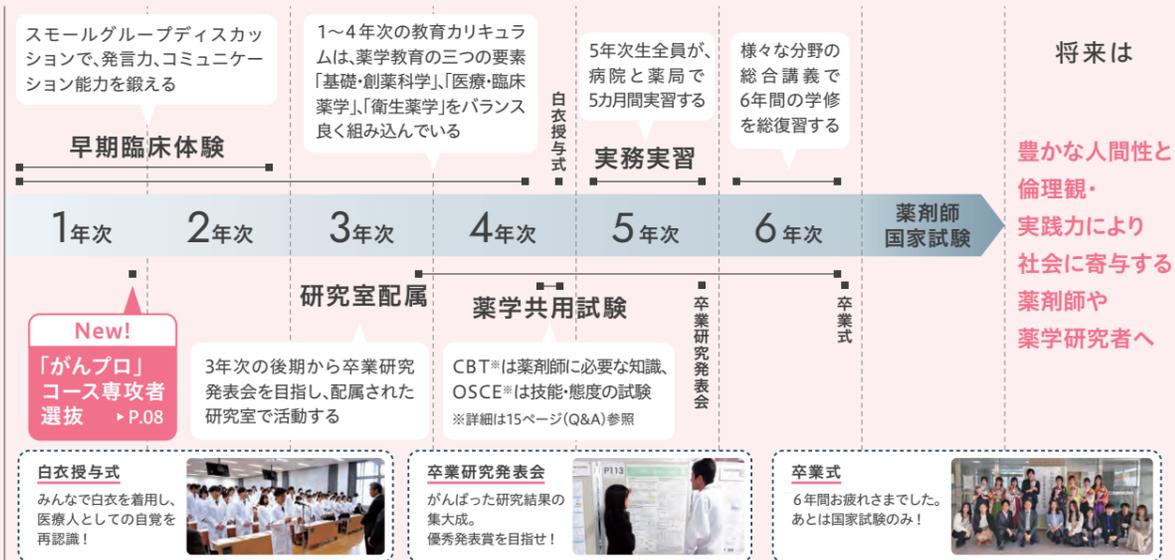
A 知識・理解	高等学校の教育内容を幅広く学修しており、探究心旺盛で科学に関する素養を有する人
B 技能	患者ならびに医師をはじめとする医療関係者と適切に連携できるコミュニケーション能力を備えている人
C 態度・志向性	思いやり、倫理観、使命感そして強い責任感を備えている人
D その他の能力・資質	医療業界のグローバル化に対応するため英語の資格を取得した人やスポーツや生活習慣を通じて、心身の健康維持・増進を目指す姿勢を持っている人

求める人材像(求める能力)の詳細は



### 薬学科での6年間

## “福岡大学薬学部は『6年制薬学科』”



福岡大学薬学部 Webサイト



### 在学生の声

6年かけて薬剤師国家試験合格を目指す！  
知識にも思いやりにも溢れた“薬の専門家”に。

#### Q1 この学科の魅力は？

先生方が非常に熱心で、重要なポイントを分かりやすく教えてくださるので、常に国家試験を意識した学習ができます。また、実際の現場での話も交えながら講義・実習が進むので、資格取得だけが目的ではなく、現場で活躍できる薬剤師になることが大切だと気を引き締めて学習に臨むことができます。先輩とのつながりも強く、相談できる環境があるのも助かります。

#### Q2 好きな授業は？

医療コミュニケーション能力を身に付ける「コミュニケーション学」です。薬や身体の機能などの知識を学ぶ授業とは違い、薬剤師として患者さんに服薬指導をする際に必要な能力を養います。患者さんに寄り添うためにはどんな話し方が適切かを、自分が働く姿を想像しながら学べるので“薬の専門家”としての責任をより一層強く感じました。



山口 恭佳さん

薬学部 薬学科 4年次生  
山口県 山口高校出身

※2023年取材時の情報です。

#### 時間割 [3年次後期](例)

	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:00		疾患薬理学Ⅲ	日本薬局方Ⅱ	製剤学	創薬化学Ⅱ
10:40	病態・薬物治療学Ⅰ	分析化学Ⅳ	臨床薬物動態解析学	コミュニケーション学	天然物化学
13:00	薬学物理化学Ⅳ				環境衛生学Ⅰ
14:40	病態・薬物治療学Ⅱ	化学系実習Ⅲ	物理系実習Ⅲ	生物系実習Ⅳ	
16:20					

その他カリキュラムの詳細は



### 卒業生の声

学生時代に積み上げた研究実績を社会に還元。  
薬学を含む科学全般の知識に支えられている。



川末 慎葉さん (2020年卒業)

国立医薬品食品衛生研究所 食品衛生管理部  
薬学研究科 薬学専攻 博士課程(2023年修了)

※2023年取材時の情報です。

卒業研究と大学院での研究のテーマは「化学物質の量を正確に測定できる分析法の開発」でした。医薬品、食品や医療機器などの品質・安全性・有効性について調査・研究を行う当研究所なら、私が培った技術を社会に還元できると考え、日本学術振興会の特別研究員として受け入れてもらいました。現在は、海洋自然毒の分析法開発を担当しています。

学生時代には1カ月ごとの研究成果をまとめて発表する機会がありました。分かりやすく伝えるための資料やシナリオを作るのは大変でしたが、現在の学会発表や他の研究者との情報交換をする上で、この経験はとても役立っています。自分の成果を正しく認知してもらうためには、研究内容を他者

に明かに説明する能力が欠かせないからです。また、本学科では薬学以外にも幅広い科学の知識を蓄えることができます。そのおかげで、他分野の研究内容も比較的理解しやすく、助かっています。





# 2024年度より 新カリキュラムが始動！

急激な少子高齢化、労働人口の減少、AIの登場、健康格差、増大する医療費の問題……。大きく変貌する日本の社会構造は、将来に大きな影響を及ぼすことになると予想されています。これらの変化や予測困難な出来事に対して柔軟に対応可能であり、時代のニーズに合わせて生涯にわたって活躍できる薬剤師が必要とされています。本学薬学部では、こうした人材を養成するためにつくられた新カリキュラムを学習することで、薬剤師として社会で活躍できる能力の修得を目指します。

## 新カリキュラムの特徴

### 1 薬剤師として求められる基本的な資質・能力を身に付けます

薬学教育モデル・コア・カリキュラムでは、次のような資質・能力について生涯にわたって研鑽していくことが求められています。

- ① プロフェッショナリズム
- ② 総合的に患者・生活者をみる姿勢
- ③ 生涯にわたって共に学ぶ姿勢
- ④ 科学的探究
- ⑤ 専門知識に基づいた問題解決能力
- ⑥ 情報・科学技術を生かす能力
- ⑦ 薬物治療の実践的能力
- ⑧ コミュニケーション能力
- ⑨ 多職種連携能力
- ⑩ 社会における医療の役割の理解

### 2 大きく変化する社会でも活躍できる薬剤師を育てる教育を行います

超高齢社会やIT技術の進展などに対応すると同時に、大学と医療現場が連携を密にして効率的な教育を行うことにより、多様な場や人をつないで活躍できる薬剤師を育てます。



### 3 課題の発見と解決を科学的に探究できる人材を育成します

基本的な知識や技能を覚えることは大切です。しかし教科書にないような事態に薬剤師が遭遇した際、その問題を解決する能力が社会では求められます。こうした薬剤師としての実践的な臨床能力を養成でき、生涯にわたっての目標となるような、新たなモデル・コア・カリキュラムを展開します。



## 目指すべき⑩の薬剤師像

- ① 豊かな人間性と生命の尊厳に深い認識をもつ薬剤師
- ② 総合的に患者や生活者をみることができる薬剤師
- ③ 生涯にわたって共に学ぶ姿勢をもつ薬剤師
- ④ 科学的探究心をもつ薬剤師
- ⑤ 専門知識に基づいた問題解決能力をもつ薬剤師
- ⑥ 情報・科学技術を生かすことができる薬剤師
- ⑦ 薬物治療の実践的能力をもつ薬剤師
- ⑧ 高いコミュニケーション能力をもつ薬剤師
- ⑨ 多職種連携能力をもつ薬剤師
- ⑩ 社会における医療の役割を理解できる薬剤師

## 新カリキュラム一覧

授業科目は、共通教育科目と専門教育科目に分かれています。共通教育科目はさらに、総合教養科目(人文科学、社会科学、自然科学、総合系列科目、学修基盤科目)、外国語科目、保健体育科目に分けられています。専門教育科目は各年次科目に分けられています。

### 共通教育科目

#### 総合教養科目

総合大学の長を生かして、優れた人間性と倫理観を磨く教育を実践しています。総合教養科目は5群(人文科学22科目、社会科学17科目、自然科学4科目、総合系列科目1科目、学修基盤科目4科目)と豊富な科目と内容で編成され、学部の枠を超えて他学部学生と同一教室で受講することで、幅広い人間性の育成を図っています。2022年度から学修基盤科目に新しい科目「データサイエンス・AI入門」が設置されました。この科目は、さまざまな社会活動においてデータに基づく意思決定が求められる現在、数理的思考力やデータ分析能力をもつ人材、さらには人工知能(AI)を活用できる人材の育成を目的としています。

総合教養科目は、選択科目です。

#### 外国語科目

語学(第1、第2外国語)の授業に関しては、少人数制を採用しています。

第1外国語(英語)については、1クラス30人程度で授業を行い、積極的に英語を使用できる環境を作っています。また、TOEIC® IPテストの結果を用いた習熟度別クラス編成により、学生一人一人の英語力に応じたクラスでの授業を展開し、着実なレベルアップを図ります。学生によって学習すべき内容が異なるため一人一人の苦手な部分に対応し学習内容をカスタマイズするe-Learning教材を授業に導入します。自分のレベルにぴったりの教材で、効率的な学習を行うことが可能です。

第2外国語科目は選択科目にしています。

#### 保健体育科目

スポーツを楽しむ態度を身に付け、生涯にわたって心身共に健康でQOL(Quality of Life)を高めていくために設置しています。

共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学A、哲学B、論理学A、論理学B、倫理学A、倫理学B、宗教学A、宗教学B、日本史A、日本史B、東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、日本文学A、日本文学B、アジアの文学A、アジアの文学B、西洋文学A、西洋文学B、芸術A、芸術B
	総合教養科目	社会科学	法学A、法学B、政治学A、政治学B、日本国憲法、経済学A、経済学B、商学A、商学B、社会学A、社会学B、地理学A、地理学B、心理学A、心理学B、文化人類学A、文化人類学B
		自然科学	統計入門、物理の世界、化学実験、生物学実験
	総合教養科目	総合系列科目	福岡大学で考える現代社会(多職種連携で支える人生100年時代)
		学修基盤科目	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか、データサイエンス・AI入門、アカデミックスキルズゼミI、アカデミックスキルズゼミII
	外国語科目	第1外国語	Practical English I~III、Core English I~III、Advanced English I~II、海外英語研修
第2外国語		ドイツ語 I~II、フランス語 I~II、中国語 I~II、ロシア語 I~II、スペイン語 I~II、朝鮮語 I~II	
保健体育科目	保健体育科目	生涯スポーツ演習 I~IV、生涯スポーツ論	

## 専門教育科目

薬学部の全ての専門教育科目は、各科目の内容によって基礎薬学、衛生薬学、医療薬学、臨床薬学、薬学研究の5分野に分類されています。これにより多様な科目の中で、今学んでいる科目の学問分野が学生に分かりやすくなっています。

専門教育科目は原則として、低学年次に基礎系科目を、高学年次に臨床系科目を含む専門性の高い科目を配置していますが、低学年次から臨床系科目を学ぶことで、薬学への興味を深めてもらうために、腫瘍感染症薬学入門(1年次生)や患者アセスメント薬学演習(2年次生)等の臨床系科目を設けています。さらに医療倫理やコミュニケーション能力を強化するためのアクティブラーニング科目として、早期臨床体験Ⅰ(1年次生)やコミュニケーション学演習Ⅰ、Ⅱ(3、6年次生)等の設置、近年の急速なAI・デジタル化が進む医療業界に対応するための情報処理科目として、薬学情報処理リテラシー演習(1年次生)等を設けています。

薬学部のカリキュラムは、薬剤師国家試験のための高度な薬学専門知識を涵養する科目に加え、時代の要請に応じた最新の学問分野も取り入れ、調和のとれた体系的なカリキュラムが編成されています。

専門教育科目	1年次科目	必修科目	薬学情報処理リテラシー演習				
		選択必修科目	基礎薬学	薬学物理化学入門 薬学生物学入門	薬学化学入門 機能形態学	無機薬化学 解剖学演習	有機薬化学Ⅰ
			臨床薬学	薬物治療学入門	腫瘍感染症薬学入門	薬剤師入門	早期臨床体験Ⅰ
	2年次科目	必修科目	微生物学実習 医療体験実習	生化学実習	薬品分析学実習	衛生化学実習	
		選択必修科目	基礎薬学	薬学物理化学基礎 生薬・漢方薬学Ⅰ 医薬品化学Ⅰ	薬学物理化学応用 生薬・漢方薬学Ⅱ 生化学	日本薬局方 有機薬化学Ⅱ 免疫学	分析化学Ⅰ 有機薬化学Ⅲ
			衛生薬学	微生物学	疾患食品衛生学		
			医療薬学	薬理・薬物治療学Ⅰ	放射性医薬品学	薬物動態学	医薬品情報学
			臨床薬学	患者アセスメント薬学演習	薬学英語演習	早期臨床体験Ⅱ	
	3年次科目	必修科目	機器分析学実習 薬理学実習	薬化学実習 薬学研究入門	生薬・漢方薬学実習	医薬品化学実習	
		選択必修科目	基礎薬学	分析化学Ⅱ 内分泌薬学	分析化学Ⅲ	天然物化学	医薬品化学Ⅱ
			衛生薬学	公衆衛生学	薬毒物代謝学	感染症薬学	
			医療薬学	薬理・薬物治療学Ⅱ 製剤学	薬理・薬物治療学Ⅲ 薬物動態解析学	薬理・薬物治療学Ⅳ 医薬品安全性学	物理薬剤学
			臨床薬学	臨床検査学	医薬品開発・経済学	コミュニケーション学演習Ⅰ	
		選択科目	がん疫学演習				
	4年次科目	必修科目	薬事医事関係法規総合論Ⅰ 実務実習事前学習	総合薬学特別講義Ⅰ	薬学研究Ⅰ	薬剤学実習	
		選択必修科目	衛生薬学	環境衛生学	感染制御学演習	疫学研究演習	
			医療薬学	バイオ医薬品学 臨床薬物動態学	薬理・薬物治療学Ⅴ 薬学疾患管理学	薬理・薬物治療学Ⅵ	薬物送達学
			臨床薬学	薬学臨床推論基礎	医薬品調剤・販売論	腫瘍薬学	個別化医療薬学演習
	5年次科目	必修科目	実務実習	薬学研究Ⅱ			
		選択科目	がん緩和ケア演習	がん治療管理学演習	がん患者アセスメント演習		
6年次科目	必修科目	薬事医事関係法規総合論Ⅱ	総合薬学特別講義Ⅱ	総合薬学演習	薬学研究Ⅲ		
	選択科目	先端治療学 薬物療法評価学	薬事行政論 臨床漢方薬学演習	地域医療薬学 実務実習事後演習	薬学臨床推論応用 コミュニケーション学演習Ⅱ		

## Pick Up 科目

新カリキュラムで追加される科目から、いくつかご紹介します。

### 1年次必修科目 | 薬学情報処理リテラシー演習

大学生生活を快適に過ごすためのPC活用法を学びます  
レポート作成に必要な基本ソフトの使い方を習得します

薬剤師は、薬の情報を患者さんに分かりやすく説明するスキルが必要です。そのためには、薬の情報を「収集」、「加工する」、「まとめる」および「発表する」技能を大学生活で身に付ける必要があります。この演習では、薬学生にとって必要な基本ソフトの使い方を学びながら、情報を効率よく整理・解析し、理論的に考察する方法を習得することを目指します。

### 3年次必修科目 | 薬学研究入門

最新の研究を知ることで、研究の魅力を発見できます  
薬剤師に必要な研究マインドを育むことができます

現役の薬学研究者らが講師を務める本科目では、いかにして独創的研究アイデアを発想し、その研究の突破口を開こうとするかなど、研究者のリアルな声を聴くことができます。研究のおもしろさや必要性を低学年で知ること、薬剤師として必要な、臨床現場における薬学的問題を発見・解決し、それを社会に発信できる力、すなわち研究力の素地を育むことを目指します。

### アクティブラーニング | 3年次および6年次選択必修科目 | コミュニケーション学演習ⅠおよびⅡ

薬剤師に必要なコミュニケーションスキルを身に付けるために  
ロールプレイ形式を取り入れた演習

薬剤師の業務は対物業務から対人業務へとシフトしています。そこで薬剤師は、①患者との信頼関係を築くため、②医療従事者と円滑に意思疎通を図るためにコミュニケーション能力が重要なスキルとなっています。本演習はロールプレイ形式を取り入れ、実務実習前の3年次(Ⅰ)および実習後の6年次(Ⅱ)を通じて、継続的にコミュニケーションを学んでいきます。

### 2年次選択必修科目 | 患者アセスメント薬学演習

患者さんの状態を確認しながら、薬物療法の効果を評価します

身体的な生体情報を確認し、評価するのがフィジカルアセスメントです。患者さんの状態や症状は、刻々と変化していきます。フィジカルアセスメントは、その変化を映画の一コマとして捉え、連続性と新規性を評価します。

### 4年次選択必修科目 | 薬学臨床推論基礎

薬剤師が患者の病態をアセスメントする時代になり、  
今後の臨床では必須となるスキルを身に付けるための講義

臨床推論とは患者の病態を正しく評価し、問題解決の方策を見極めるための思考プロセスです。患者をモニタリングするこれからの薬剤師には、病歴や身体所見、バイタルサインから何が起きているかを理解し、薬物由来の症状かを判断する必要があります。本講義は将来、病院や薬局で活躍する上で薬剤師にとって必携のスキルを身に付けるための講義となります。



## Column 本学薬学部 × 外部企業 × 薬ゼミ。三者がコラボして実務実習を学ぶ。

### [実務実習事前コラボ授業]

薬学部では、実務実習を次年度に控えた4年次生を対象に、薬学ゼミナール(薬ゼミ)および外部企業(薬局)と協力して「実務実習事前コラボ授業」を開催しています。この授業では、臨床的に必要な知識よりも実習に臨む心構え、あいさつ、コミュニケーション等について、アクティブラーニングによる授業を行います。教員は薬局で活躍する現役薬剤師(本学薬学部卒業生)や薬ゼミ講師であり、現場の体験談をもとにした実践的なアドバイスは説得力があり、学生さんに大変好評です。



2023年1月に実施したガイダンスの様子

“クリニカルファーマシスト養成プログラム”第一弾

# 「がん薬物治療学コース」が 2024年春にスタート!

薬剤師の、さらに上をめざそう。

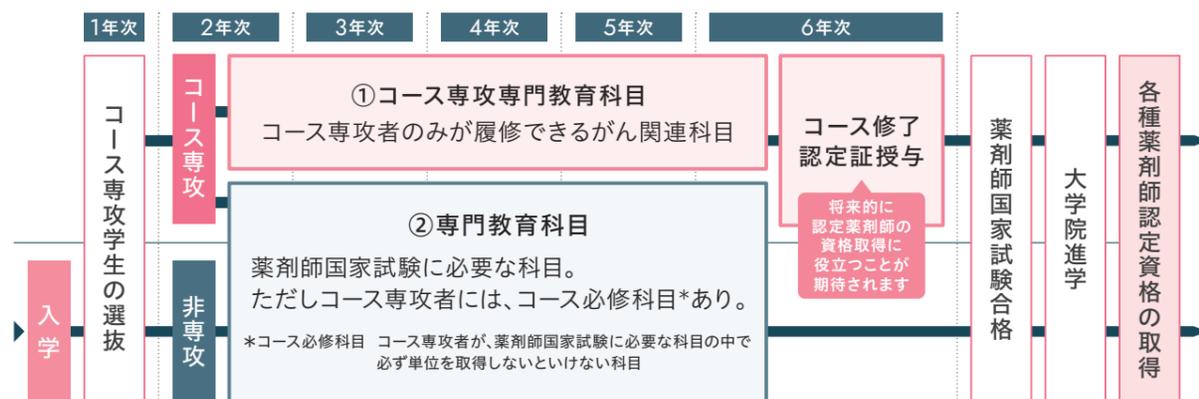
## “がん薬物療法”の強みをもつ薬剤師を養成

がん薬物治療学コースでは、「薬剤師国家試験に合格して資格が取得できればよい」というだけに留まらず、“がん薬物療法”という専門領域で、独自の強みを備えた薬剤師を養成することを目指しています。高い志を持った方の挑戦をお待ちしています。

### ■本コースのPOINT

<b>1</b> “がん薬物療法”の 実践的な知識・技術を学ぶ	<b>2</b> “がん薬物治療”に対する 強みを磨いて独自性を出す	<b>3</b> がん専門薬剤師の 取得条件を早期に満たす
がんの薬物治療は、とても複雑で高度な専門知識を必要とします。本学薬学部通常のカリキュラムでは十分とは言えない“がん薬物療法”に関する、実践的な知識・技術を学んで実力を養います。	今後、過剰供給になることが予想される薬剤師ですが、本学薬学部ならではの“がんの薬物療法に強い”独自性を持った薬剤師を育成することで、社会状況の変化にも影響されにくい人材を輩出します。	がんに関連する認定薬剤師や専門薬剤師の資格取得を得るには、①薬剤師としての実務歴、②がんに関する知識、③自身が関与した症例報告が必要となります。本コースを修得すれば、①を満たした卒業の早期段階で、資格取得の条件が得られます。

### ■学びのスケジュール



- 1) コース専攻者の選抜は、1年次生の成績(年間の平均点・GPA)を用います(受け入れ人数は約30人)。
- 2) コース専攻者は、2年次生から6年次生までに専門教育科目(①②の2種類)を履修します。コース履修で学費が変わることはありません。  
① コース専攻専門教育科目(上図)は、がんに特化した科目で、コース専攻者だけが履修できます。  
② 専門教育科目(上図)は、薬剤師国家試験に必要な科目で、非専攻者と共通です。  
ただし、コース専攻者には、②専門教育科目の中にコース必修科目が含まれています。コース必修科目は、コース専攻者が必ず単位を取得しなければならない科目であり、1科目でも不合格となるとコースから除外されます(除外されても進級には影響しません)。
- 3) コース専攻者においては、コース修了後に福岡大学薬学部が認定するコース修了認定証を授与します。
- 4) コース専攻者と非専攻者はともに、薬剤師国家試験を受験できます。さらに、がんの知識を生かして大学院に進学することも可能です。

### ■本コースで学修する専門教育科目

コース専攻者の「①コース専攻専門教育科目」および「②専門教育科目の中のコース必修科目」は以下の通りです。

1年次	②腫瘍感染症薬学入門 ②解剖学演習
2年次	②生化学 ②免疫学 ②患者アセスメント薬学演習
3年次	①がん疫学演習 ②感染症薬学 ②公衆衛生学 ②薬毒物代謝学 ②薬理・薬物治療学Ⅲ ②薬理・薬物治療学Ⅳ ②臨床検査学
4年次	②薬学臨床推論基礎 ②薬理・薬物治療学Ⅴ ②腫瘍薬学 ②薬理・薬物治療学Ⅵ ②感染制御学演習 ②疫学研究演習 ②個別化医療薬学演習 ②薬学臨床推論基礎
5年次	①がん緩和ケア演習 ①がん治療管理学演習 ①がん患者アセスメント演習
6年次	②先端治療学 ②薬物療法評価学

### ■本コース専攻者が目指す薬剤師像

このコースでは臨床現場で必要とされる薬物療法に関する実践的な知識を幅広く学びます。そのため薬剤師に必要とされる薬物療法に関する知識だけでなく、これから必要とされる「患者をみる力」を習得できます。その結果として、特に「がんの薬物療法に強い」、「卒業後に即戦力となる」薬剤師になることができるでしょう。さらに本コースで学んだ高度な知識と技能は、大学を卒業後、将来的にがん指導薬剤師やがん専門薬剤師などの認定薬剤師\*になる際に大きな助けにもなるはずですよ。

\*このコースを終了しても認定薬剤師になれるわけではありません。認定薬剤師になるためには卒業後の実務経験が必要です。

### ■専門の資格を有したプロフェッショナルな教師陣

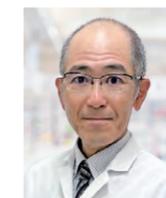
日本医療薬学会が認定するがん専門資格の中には、「**A**がん専門薬剤師」と「**B**がん指導薬剤師」があります。本コースでは、**A**がん専門薬剤師または**B**がん指導薬剤師の資格を有した薬学部教員を中心に講義や演習を実施しています。

<b>A</b> がん専門薬剤師	高度化するがん医療の進歩に伴い、薬剤師の専門性を生かしたより良質かつ安全な医療を提供するという社会的要請に応えるため、がん薬物療法等について高度な知識・技術と臨床経験を備える薬剤師として認定されています。	<b>B</b> がん指導薬剤師	がん専門薬剤師の育成および指導などを行える上級資格として認定されています。
---------------------	--	---------------------	---------------------------------------



松尾 宏一 教授

我が国ではがんの罹患数と死亡数は増加し続けていて、医療現場においては以前にも増して重要な疾患となっています。そこで本学部の「がん薬物治療学コース」は、入学早期の段階からがん治療に関する正しい知識を身に付けるために、他大学に先駆けて設置されました。コースではその基礎および薬剤師が臨床現場でどのように関わっているかを学んでもらい、卒業後はがん治療分野で活躍できる薬剤師となってみたいと願っています。



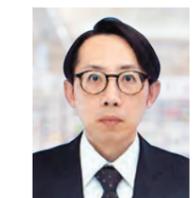
緒方 憲太郎 教授

がんは患者とその家族の人生に大きな影響を及ぼす疾患の一つです。そのため患者・家族には支えてくれる人が必要であり、薬剤師もその一人です。将来、あなたが患者・家族にとって最良の結果を目指す医療チームの中で、患者・家族と共にがんに立ち向かい、薬の専門家として重要な役割を果たすことが患者・家族の喜びになり、あなたの喜びになることでしょう。そのための第一歩を福岡大学薬学部で踏み出してみませんか。



林 稔展 准教授

がん医療が高度化する中で、薬剤師の役割はますます重要になっています。がんの治療はもちろん、副作用への対策、痛みなどのつらい症状を和らげる治療など、薬を上手く使うことでがん患者さんをサポートできることはたくさんあります。研究をしてより効果的な薬の使い方を見つけることも大切な役割です。福岡大学では、臨床経験豊富ながん専門薬剤師が実践的な指導をします。一緒にがんの患者さんを支える薬剤師を目指しませんか。



内山 将伸 准教授

がんは複雑な病気であり、その理解と対処には広範な知識と高度なスキルが求められます。治療で使用する抗がん薬は高い毒性を有しており、安全かつ効果的な薬物療法を提供するためには、薬剤師による専門的な助言や提案が不可欠です。「がん薬物治療学コース」で学ぶことは、がん患者の命を支え、未来の医療に貢献する素晴らしいチャンスです。同じ志を持つ仲間たちと共に学び、協力し合いながら成長していくことを期待しています。

# 研究室・附属施設

薬学部では3年次後期から研究室配属となり、卒業研究を進めることになります。特色ある研究室と附属施設を紹介します。

受験生のためのライブラリー  
**FUKUTANA**

マークの付いている研究室は、「受験生のためのライブラリー“FUKUTANA”」で研究や担当講義の内容を動画として公開中。

FUKUTANA  
TOP



FUKUTANA  
薬学部



## 化学系

### ■ 薬化学研究室

現代医療で使用されている医薬品の多くは有機化合物であり、新しく合成された化合物です。薬化学研究室では、特徴ある構造と生物活性を有する化合物の分子設計および合成に関する研究を目的とした有機合成化学の基礎的研究を行っています。すなわち、炭素、窒素、酸素など少なくとも2種類の異なる元素を含む環状化合物であるヘテロ環化合物の新規合成、また、それら合成化合物の悪性腫瘍や真菌に対する増殖抑制効果などの生物学的評価を行い、創薬を指向したリード化合物の創製に関する研究を進めています。

## 物理学系

### ■ 薬品分析学研究室

分析化学は、化学系、生物系、医療系を含む全ての薬学領域における「緑の下の力持ち」的な学問とされています。どのような計測機器を用いても、測定値(分析結果)が正しくなければ、新しい薬物を創り出すことはおろか、既存の医薬品を有効に活用することもできません。私たちは、生体成分や医薬品、環境汚染物質などをできるだけ簡単に、そして正確に分析するための方法論を開発することで、薬学・医療の向上のために寄与しています。

## 生物学・衛生学系

### ■ 生化学研究室

遺伝情報発現制御の実行プログラムを理解することは、さまざまな生命現象の分子メカニズムを解明するために必要です。特に転写活性化・不活性化のperformerである転写調節因子群の機能は、発生・分化、内分泌、脳機能などの高次生命現象のみならず、がん、生活習慣病などの病態にも関わってきます。本研究室では、このような概念を根幹に据えて、組織あるいは時期特異的に転写活性を制御する因子、シグナル伝達分子の作用メカニズムなどに関する研究を行っています。

## 薬理学系

### ■ 臨床疾患薬理学研究室

本研究室は、医療に直結した創薬と臨床薬剤師養成を目指しています。認知症やうつ病などの精神疾患の漢方治療の薬理学的エビデンスの構築「漢方を科学する」を目指して、行動薬理学を基盤に生理学的、分子生物学的手法を積極的に取り入れて研究を行っています。さらにはiPS細胞を駆使した難治性疾患の発症機序研究、グリア創薬を目指した研究を行っています。

### ■ 免疫・分子治療学研究室

臨床の現場で活躍する薬剤師には、患者さんの治療に向けて医師、看護師やコメディカルと強く連携することが求められます。そこで、本研究室では感染症やがんなどの基礎研究を通じて疾患の病態の理解力を養うとともに、実験立案や結果報告を経験することでプレゼンテーション能力や討論力を育成します。また研究室内での日常生活を介して積極的で責任感のある人間形成を目指しています。

### ■ 医薬品化学研究室

私たちの研究室では、触媒反応開発、機能性化合物創出、創薬という3つの研究テーマに取り組んでいます。有機化学を基盤として、触媒反応開発研究では有機金属触媒反応や配位子設計などを、機能性化合物創出研究では包接化合物や多環性複素環化合物の合成などを、創薬研究では抗菌、抗ウイルス、および抗腫瘍候補化合物の探索などを行っています。配属学生と共に化学構造式と向き合いながら日々研究を行っています。

### ■ 薬品物理化学研究室

薬を服用してから効果が表れるまでには、薬と私たちの体との間でさまざまな反応が起こります。その反応を詳しく調べることで、より良い効果を示す薬や副作用の少ない薬を開発することができます。本研究室では、薬に関して医療や介護の現場で問題となっていることを解決するために実験ならびにコンピュータによる分子シミュレーションを行っています。

### ■ 衛生化学研究室

衛生化学は、さまざまな病気や有害化学物質などから“生(健康)”を“衛”するための学問です。私たちの研究室ではこのことを念頭に、生活習慣病の発症メカニズムを遺伝子レベルで明確にするために研究しています。これらの研究で生活習慣病の発症や悪化に関連している遺伝子・タンパクを見つければ、それらを創薬研究に役立てることで人々の健康な生活を“衛”りたいと考えています。

### ■ 生体機能制御学研究室

本研究室は、大麻の有害作用と医療応用、抗癌剤の副作用、新生児および成人の脳血管障害、蛋白質ミスフォールディング病について行動薬理学、神経科学、分子生物学的手法を用いて、病態の解明および創薬開発に向けた研究を行っています。研究は、問題解決能力、判断力、自立力を高めるための方法として最適です。研究課題を通して、新しい発見に挑み、研究の分かる薬剤師を目指しませんか。

### ■ 臨床薬物治療学研究室

多くの研究努力の結果生まれた「薬」は、患者さんが服用してはじめてその役割を果たします。それは「医療者」と「患者さん」という、人と人とのコミュニケーションの中で実現します。そしてこの段階で大きな役割を果たすのが「薬剤師」です。本研究室は、この臨床的場面をさらに優れたものにすることを研究の目的としています。

### ■ 生薬学研究室

医学が「治療」から「予防」へと転換期を迎えつつある現在、天然薬物への関心が高まりつつあります。また新薬開発の先導(リード)化合物としての価値も増えています。天然薬物の中心は植物成分(フィトケミカル)ですので、生薬学研究室では、古来、受け継いできた自然からの恩恵に対し、主に植物化学的、細胞薬理学的側面からアプローチすることを目的として研究を進めています。

### ■ 臨床分析科学研究室

病気を見つけるためにはどうすればよいのでしょうか?医療の現場では、適切な治療を行うため、正確な診断を行うことが求められます。私たちの研究室では、その診断を行う、あるいはそれを行うための方法や技術を考案したり、開発したりすることを目的とした研究を行っています。実際には、方法論の開発という基礎的な研究内容が多い場合がありますが、それに留まることなく、開発した方法を臨床的に応用させるなど、薬学や医療分野に常に貢献できることを目指して研究を行っています。

### ■ 微生物薬品化学研究室

エイズ・マラリア・結核をはじめとする多くの感染症の克服は、21世紀に持ち越された医学・薬学の重要な課題です。感染症の予防・治療を目的とした新たな手段と戦略の開発が必要とされています。私たちは、近年進歩の著しい分子生物学手法を用いたアプローチによって、新たな微生物の機能を理解し、創薬による感染症克服へ向けて、日々研究を行っています。

## 薬剤学系

### ■ 応用薬剤学研究室

安心で安全な薬物治療を行うためには副作用を未然に防ぐことが必要です。本研究室では、副作用が起こりやすい病態を明らかにし、その「発現しやすさ」を予測できる個体情報を見つける目的で基礎研究を行っています。特に、脳に関連した病態と副作用や薬物の脳移行性などに関する医療薬理的な研究に取り組んでいます。これらの研究成果は、副作用の予防や回避に役立ちます。

### ■ 薬物送達学研究室

薬物を①必要な部位に、②必要な量を、③必要な時間だけ送り届けられることができれば、薬物による治療効果を最大限に発揮でき、薬の副作用を最小化することができます。このように薬物による治療効果を最適化するための「工夫(手法)」がDDS(Drug Delivery System, 薬物送達システム)です。薬物送達学研究室では、臓器、細胞およびオルガネラへのターゲティング(標的指向化)や薬物およびプロドラッグ(化学構造を変換した薬物)のDDS技術を用いて新しい薬の開発を行っています。

## 臨床薬学系

### ■ 救急・災害医療薬学研究室

救急・集中治療を要する重篤病態の患者さんのケアにおいて適切に医薬品を使用することは、その予後に大きく関わります。また、大規模災害にて全ての被災者に医薬品を届けたり、避難所の環境衛生を整えたりするためには、薬事の専門家が現場に必要です。私たちは、救急医療や災害医療の現場で、抗生物質の適正使用、災害時医薬品概況報告システムに関する研究を行っています。

### ■ 腫瘍・感染症薬学研究室

がんは、あらゆる疾患の中でも最も死亡率が高く、長年日本人の死因第1位を占めています。また新型コロナウイルス感染症の猛威により、あらためてメディカルスタッフの感染制御に関する高度な知識や技術、実践能力の必要性が認識されています。私たちは、医療現場における薬剤師のがん患者マネジメント、また抗がん薬および抗菌薬、薬物有害事象に対して使用される支持療法薬の適正使用に関する研究を行っています。

## 附属施設

### ■ 実務実習支援室

薬学部実務実習支援室は、実務実習受け入れ施設との連絡や手続きなどを行う薬学部の窓口です。充実した薬局・病院実習を円滑に行うことができるよう、担当教員が関連諸事につき学生の相談に乗っています。

### ■ 薬草園

薬用植物園(薬草園)は文字通り薬草を中心に栽培した植物園ですが、実際はおなじみの植物、例えば、シャクヤクやアザミも薬草の一つなので、普通の植物園と見かけは変わらないかもしれません。でも、注意深く植物の名札を見ると、薬用部位や効能が書いてあります。予約すれば見学も可能であり、一般の方々にもなじみやすい大学の施設だと思います。



# 学修支援

## 薬学教育センター

近年の薬剤師国家試験は、大学で学んだ知識だけではなく、臨床現場で応用できる力が重視されています。このため、従来のような直前の試験対策だけでは不十分であり、低学年からの学習習慣の確立や基礎学力の習熟が重要です。福岡大学薬学部内に設置された「薬学教育センター(薬学教育学研究室)」では、学部学生の学修活動を全面的にサポートし、学びの力が身に付くように各科目の質問や学修相談に応じています。高校時代とは異なる学修に戸惑いを感じ、学修のやり方や成績に不安がある時は、「薬学教育センター(薬学教育学研究室)」を是非利用してください。学修支援スタッフが、学生個々の学修の習熟度や理解度に応じた適切な指導・サポートを行います。

対象学年	主な学修支援の内容
6年次	薬剤師国家試験対策(講義・学修指導)
5年次	最新医療情報の配信
4年次	薬学共用試験CBT対策(講義・学修指導)
3年次	補習授業・学修指導
2年次	学修Q&Aの作成
1年次	リメディアル教育(高校理科の補完教育)
入学前	入学前準備教育

国試合格支援システム(ファーマパス)

薬剤師国家試験に対して高い合格率を維持するため、国家試験と同様の試験を「卒業試験」という形式で実施しています。学生の学力アップのため、国家試験対策集中セミナーと薬剤師国家試験の模擬試験を実施しています。さらに成績不振の学生には、特別学習による国家試験対策の勉強を義務づけています。

### 入学前準備教育

入学後、スムーズに専門教育科目の内容が理解できるように、薬学部では入学前の準備教育講座の受講を薦めています。この講座は、外部業者が作成した物理、化学、生物の動画教材(オンラインもしくはDVD)により学ぶもので、非常に分かりやすいと評判です!



### 国試合格支援システム(ファーマパス)

ネットからアクセス可能な薬剤師国家試験問題を含む薬学問題総合データベースです。スマホやPCからアクセスすれば、いつでも、どこでも授業の復習や国試の勉強ができます。薬学部では入学後から卒業まで自由にこのシステムを利用でき、学生に大好評です!



## 奨学制度

### ●福岡大学特待生制度 [対象年次:学部2年次以上]

学業成績ならびに日々の行いが特に優秀な学生を「特待生」として表彰する制度です。特待生には奨学金(30万円)が授与されます。全学部から約200人が選ばれます。

### ●薬学生向けの奨学制度

- ▶ **新・佐賀県薬剤師会 薬剤師奨学金制度**  
<http://www.sagayaku.or.jp/syougakukin>  
 5年次生・6年次生ならびに卒業前2年以内の大学院生に対し、月額10万円貸与 薬剤師国家試験合格後、佐賀県内の指定薬局で「貸与年数×1.5倍」の期間就業することにより返還免除されます。
- ▶ **永富薬学奨学財団**  
<https://nagatomi-zaidan.or.jp/>  
 保護者説明会に参加した大分県出身者で、日本国内の薬学部に在学する5年次生あるいは6年次生: 5年次生月額5万円、6年次生月額10万円貸与 薬剤師国家試験合格後、大分県内所在の薬局に3年間勤務することにより返還免除されます。

### ●日本学生支援機構および福岡大学独自の奨学制度

詳細は、大学案内でご確認ください。

他にも、地方自治体、民間育英団体、医療施設等が実施している多数の奨学制度があります。福岡大学薬学部ウェブサイトの奨学金情報ページよりお問い合わせください。

福岡大学薬学部ウェブサイトの奨学金情報ページ  
<https://www.pha.fukuoka-u.ac.jp/scholarship>



※上記全ての奨学制度の詳細は、2024年4月現在の内容であり、変更となる場合があります。

# 資格・就職先

## 資格一覧

### 取得できる資格

#### 薬剤師国家試験受験資格

#### 薬剤師でなければできない業務

- 医師・歯科医師の処方箋による薬の調剤
- 薬局の管理者
- 医薬品製造業(輸入販売)の管理者
- 保険薬剤師
- 学校薬剤師

#### 薬剤師であればその資格取得に特別の考慮が払われるもの

- 医薬情報担当者(MR)
- 作業環境測定士
- 公害防止管理者
- 環境計量士
- 労働衛生コンサルタント

#### 薬剤師であれば取得できる主な資格(業務)

- 医薬部外品、化粧品又は医療用具の製造(輸入販売)責任技術者
- 医療機器の営業管理者
- 向精神薬取扱責任者
- 毒物劇物取扱責任者
- 薬事監視員
- 麻薬管理者
- 麻薬取締官
- 食品衛生管理者、食品衛生監視員
- 環境衛生指導員
- 検疫委員
- 衛生管理者

## 進路・就職について

本学部が設立されて65年、今までに1万3千人を超える優秀な人材を世に送り出してきました。その活躍の場は、病院、薬局、製薬業界あるいは業務行政に携わる公務員等多方面にわたり、指導的立場にある卒業生も数多くいます。また、大学等の教育機関にあって、若い人材の育成と研究活動に邁進している先輩も少なくありません。より高度な専門的知識の修得と研究を目指して、学部卒業後、大学院へ進学することもできます(16ページ参照)。

### サポート体制

#### ▶ インターンシップ

在学生が、夏季・春季休暇中などに、病院・薬局・企業等において研修形式の就業体験を行うことで、学内で修得した技能および知識を確認しながら薬剤師の職能を理解し、自分自身の職業適性を見極められるようサポートしています。

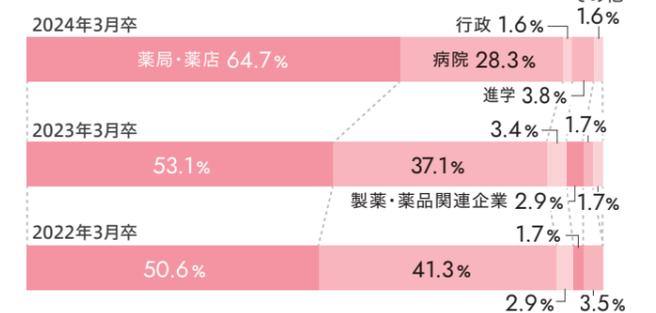
#### ▶ 進路ガイダンス

大学院進学・就職に対する基本的な活動方法、就職試験で大きなウエイトを占める面接試験突破のための「模擬面接会」や「対策講座」、さまざまな職種で活躍している本学部卒業生を講師に招いての「業界別説明会」、病院・薬局・企業・行政など約100事業所による「合同就職説明会」などを行い、在学生の進路実現に向けてサポートしています。

#### ▶ 個人面談(ヒアリング)

一人一人の進学や就職活動に関するさまざまな疑問、悩みや不安を解消し、よりスムーズに卒業後の進路を決定できるように、アドバイスを行っています。

### [直近3年間の就職状況]



### [主な就職先・進学先]

薬局	病院	企業
<ul style="list-style-type: none"> <li>● ㈱アインファーマシーズ</li> <li>● I&amp;H㈱</li> <li>● 日本調剤㈱</li> <li>● 総合メディカル㈱</li> <li>● アポクリート㈱</li> <li>● クオール㈱</li> <li>● ㈱マツキヨココカラ&amp;カンパニー</li> <li>● ㈱大賀薬局</li> <li>● ㈱サンキョードラッグ</li> <li>● ㈱新生堂薬局</li> <li>● ㈱タカラ薬局</li> <li>● タケシタ調剤薬局㈱</li> <li>● ㈱ミズ</li> <li>● ㈱野間薬局</li> <li>● ㈱いちのみや薬局グループ</li> <li>● ㈱ドラッグイレブン</li> <li>● ㈱ソルハグループドラッグ&amp;ファーマシー</li> <li>● ㈱ドラッグストアモリ</li> <li>● ㈱コスモ薬品</li> <li>● ㈱サンドラッグ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国立病院機構</li> <li>● 地域医療機能推進機構(JCHO)</li> <li>● 福岡大学病院</li> <li>● 福岡大学筑業病院</li> <li>● 九州大学病院</li> <li>● 久留米大学病院</li> <li>● 佐賀大学医学部附属病院</li> <li>● 長崎大学病院</li> <li>● 鹿児島大学病院</li> <li>● 産業医科大学病院</li> <li>● 福岡徳洲会病院</li> <li>● 製鉄記念八幡病院</li> <li>● 日本赤十字社</li> <li>● 恩賜財団済生会</li> <li>● 高邦会</li> <li>● 雪の聖母会 聖マリア病院</li> <li>● 新古賀病院</li> <li>● 福岡青洲会病院</li> <li>● 佐賀県医療センター好生館</li> <li>● 那覇市立病院</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第一三共㈱</li> <li>● エーザイ㈱</li> <li>● 大塚製薬㈱</li> <li>● 日本イーライリリー㈱</li> <li>● マルホ㈱</li> </ul> <p>行政</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 福岡県庁</li> <li>● 福岡市役所</li> <li>● 佐賀県庁</li> <li>● 大分県庁</li> <li>● 熊本県庁</li> <li>● 宮崎県庁</li> <li>● 鹿児島県庁</li> <li>● 沖縄県庁</li> <li>● 医薬品医療機器総合機構</li> </ul> <p>大学院</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 福岡大学</li> <li>● 九州大学</li> <li>● 熊本大学</li> <li>● 大阪大学</li> </ul>

# Q&A



## “薬学部”の仕組みについて

Q 薬学部の修業年限について教えてください。

A 薬学部には、学部6年制と学部4年制の二つの修業年限の課程があります。高度化する医療や医薬分業の進展に伴い、さらに高い能力の薬剤師を養成するために2006年度から薬学教育6年制課程が始まりました。

大学卒業後にさらなる研究・教育を希望すれば大学院進学の道も存在しますが、6年制薬学部と4年制薬学部では大学院の修業年限も異なります。6年制薬学部では、学部卒業後の博士課程の標準修業年限は4年間です。一方、4年制薬学部では、学部卒業後に2年間の博士課程(前期)があり、その後3年間の博士課程(後期)が設けられています。

Q 薬学部の6年制課程と4年制課程の違いを教えてください。

A 最も顕著な違いは、薬剤師国家試験受験資格の有無です。大学卒業時に薬剤師国家試験の受験資格を得られるのは6年制課程の薬学部だけです。4年制課程の薬学部では、大学院に進学して合計6年間(あるいは9年間)の課程を修了しても、薬剤師国家試験の受験資格は得られません。

なお、薬学部の6年制課程は「薬学科」の名称のものが多く、4年制課程は「薬科学科」や「創薬科学科」などの名称が付けられています。「薬学科」以外の名称の場合、6年制課程か4年制課程か、つまり薬剤師国家試験の受験資格を得られるのか得られないのかを見誤らないように注意が必要です。また大学によっては、入学時に薬学部の6年制課程と4年制課程とを一括募集した上で、入学後に各課程(学科)に分けるところもあるので、受験時には気を付けましょう。詳細は、各大学薬学部のウェブサイト等で確認してください。ちなみに福岡大学薬学部は6年制の薬学科のみなので、入学後に学科が替わることもなく、卒業生には全員、薬剤師国家試験の受験資格が与えられます。



## 福岡大学薬学部について

Q 高校で生物(物理)を勉強していなくても、大丈夫でしょうか？  
高校の理科にあまり自信がなくても、授業についていけますか？

A 大きな問題ではありません。一年次前期に、高校理科と薬学部専門科目との橋渡しの学問である「薬学物理化学入門」「薬学化学入門」「薬学生物学入門」を開講しています。また、薬学教育センター(12ページ)では物理と生物のリメディアル教育を行い、高校理科についての不安を解消してもらうための一助となっています。

高校レベルの物理・化学・生物については、入学者選抜試験合格者を対象に大学入学前教育も実施しています。

Q 薬学部では卒業までたどりつのが大変だと聞きましたが、本当でしょうか？

A そんなことはありません。毎年多くの学生が留年することなく卒業しています(02ページ参照)。しかし、勉強をしないで卒業できると考えるのは甘いですね。薬剤師国家試験合格後には、卒業生のほとんどが薬剤師として働きます。当然のことですが、人の命に関わる業務ですから、しっかりと知識・技能・態度を身に付けて卒業しなければなりません。そのために、薬学部では次のような関門を設けて各年次の所定科目を確実に履修し、きちんと卒業できるように指導しています。

- 1 各年次で所要単位を取得しなければ次の年次に進級できない。
- 2 同一学年に2年を超えて在学できない。

Q 6年制の薬学部を卒業したのち、研究者になれますか？

A もちろん、なれます。福岡大学は、大学院薬学研究科博士課程(修業年限4年)を設置していますので、6年制の薬学部卒業後、この大学院博士課程に進学して、これを修了すれば「博士(薬学)」の学位が与えられ、研究者への道が開かれます(16ページ参照)。他大学・他学部の大学院に進学することも可能です(13ページ参照)。

## 薬学共用試験について

Q 「薬学共用試験」の目的は？

A 薬学共用試験センター(<http://www.phcat.or.jp>)が実施する試験です。6年制薬学教育では、薬剤師としての実践能力を学習するため、医療現場(薬局および病院)での実務実習が行われます。薬学共用試験は、薬剤師資格を持たない薬学生に、この実務実習を行うに足る知識・技能・態度が備わっているかを調べる試験です。実務実習では、実際に調剤業務や服薬指導にあたる場合がありますので、それにふさわしい能力を備えているかどうかを事前に評価し、一定のレベルに到達していることが保証される必要があります。

Q 薬学共用試験とはどのような試験ですか？

A 薬学共用試験には、コンピュータを利用して薬剤師としての基本的知識を試験するCBT(Computer Based Testing)と、調剤業務や服薬指導等の技能・態度を試験するOSCE(Objective Structured Clinical Examination)の2つの試験で構成されており、どちらも合格した学生だけが実務実習に参加できます。これらの試験では、全国の受験生への公平・公正を期すため、薬学共用試験センターから派遣されるモニター員が試験に立ち会うこととされています。さらにOSCEでは、薬局や病院勤務の薬剤師などが大学外の評価者として試験に参加します。

なお、福岡大学では、4年次の必修科目である特別講義と実務実習事前学習で薬学共用試験対策をしています。また、薬学教育センター(12ページ)のサポートによる学修支援体制も整っています。

Q 薬学共用試験を受けるのは、いつですか？

A 5年次で実務実習に参加する前に、薬学共用試験に合格しなければなりません。そのため、4年次の後期に薬学共用試験を受けます。福岡大学の場合、CBTもOSCEも、おおむね12月〜1月に本試験、2月に再試験を実施しています。

## 実務実習について

Q 実務実習とは何ですか？

A 6年制の薬学教育カリキュラムでは、医療人としての倫理・教養、課題発見能力・問題解決能力、そして臨床実践能力を身に付けるためのカリキュラムの充実が図られ、薬局・病院における長期実務実習が義務化されています。薬学実務実習の在り方・目標は、「薬剤師として求められる基本的な資質」の習得です。実習は、それまで薬学部で学んできた知識・技能・態度を基に臨床現場で「基本的な資質」の習得を目指し実践的な臨床対応能力を身に付ける参加・体験型学習です。

4年次に大学での実務実習事前学習を終えた後、5年次に実務実習として薬局で11週間、その後、病院で11週間、合わせて5カ月間の実習に参加します。4年次の2月下旬から5年次の2月中旬までの1年間を4期に分け、連続する2期分を使って実習します。実務実習に参加していない期間は、大学で卒業研究を遂行します。

Q 実務実習を受けるために、大学または帰省先から非常に遠い医療機関まで通わなければならないのでしょうか？

A 福岡大学には福岡大学病院と福岡大学筑紫病院と福岡大学西新病院があり、半数以上の学生がそこで病院実習を受けることになります。それ以外の学生は、自宅近くの病院で病院実習を受けることになります。また、帰省先近くの病院で病院実習を受ける学生もいます。薬局実習は大学近くの福岡市薬剤師会薬局や民間薬局あるいは自宅や帰省先に近い薬局で受けることになります。いずれも病院・薬局実務実習地区調整機構を通じて、できるだけ交通手段等に困らないような施設で実習を受けられるように配慮しています。

Q 実務実習を受けるために、授業料等の学費とは別に費用が徴収されるのでしょうか？

A 福岡大学薬学部では徴収しません。学費の中に含まれています。



### 5カ月間の実務実習の流れ

4年次2月～5年次2月

**薬局実習**  
地域における幅広い薬剤師業務について体験し、11週間コミュニケーション能力や問題解決能力を養います。

**病院実習**  
チーム医療などの医療現場における薬剤師の役割を体得するとともに、11週間臨床に係る実践能力を養います。



# 大学院 薬学研究科

## ■ 研究科長からのメッセージ

薬学研究科は、薬学専攻と健康薬科学専攻から構成され、薬学に関する学術の理論を教授・研究し、その深奥を究めて、広く医療の進展に寄与することを理念としています。

薬学専攻(博士課程)では、国民の健康増進に向けた生物学的基本原理の解明や革新的医薬品の創製・難病克服・医薬品の安全使用など、薬学に関する社会的要請に応えることのできる人材を育成します。この専攻においては、創薬科学を追究する基礎研究者を養成するのはもちろんのこと、薬学の専門家としてさまざまな観点から疾患に取り組むことのできる高度な学術的基盤を有した薬剤師の養成を行います。本専攻は医療系薬学領域での研究を中核としますが、具体的な応用や用途を直接的な目標としない研究や、常識にとられない研究が社会への貢献につながった事実をふまえ、医療分野にとどまらず画期的なイノベーションを創出する基礎研究にも精力的に取り組めます。基礎薬学を包含する総合的な学術としての薬学を大学院プログラムとして実施していますので、薬剤師免許非取得者も入学可能です。また、従来の博士課程における一人の指導教員あるいは一研究室による専修教育だけでなく、他の分野の教員による広い視野での多面的で幅広い教育を実施しています。6年制学部あるいは、修士課程修了の学生に広く門戸を開いています。終了後は博士(薬学)の学位を授与します。

健康薬科学専攻(修士課程)では、薬学教育の開設以来、培われてきた創薬科学に基づく教育・研究指導力を生かして、医薬品のみならず、高機能食品、化粧品、環境対策素材や臨床検査製品の開発など、研究科学分野で活躍できる研究者・技術者を養成します。また、旧4年制薬学部を卒業した薬剤師に対して高度化する医療情報・知識を総合的かつ効率的に習得する研究教育環境を提供することで、薬剤師としての資質向上を図っています。薬学部以外の学部卒業生にも広く門戸を開いています。修了後は修士(薬学)の学位を授与します。

薬学研究科長 本田 伸一郎

## ■ 課程の紹介

### 健康薬科学専攻 [修士課程]

2010年度に、新たな独立専攻型大学院として開設されました。本専攻は、健康創薬科学プログラムと総合薬学プログラムの2プログラムで構成されています。健康創薬科学プログラムは、学術的な健康科学領域において活躍できる健康科学関連研究者・技術者、創薬科学関連研究者・技術者、医薬品情報担当者、健康食品・化粧品等安全管理者等の人材を輩出することを目標としています。総合薬学プログラムは、臨床現場の薬剤師が主たる対象者であり、最先端医学・薬学を体系的かつ系統的に講義および演習で修得し、課題研究活動を通じて情報収集・評価能力を培い、先導的薬剤師として地域に密着した医療貢献ができるようになることを目指しています。

### 薬学専攻 [博士課程]

6年制薬学部を基礎とする4年制大学院として2012年に開設されました。本専攻は、医療薬剤師プログラムおよび薬学研究者プログラムの2プログラムで構成されています。医療薬剤師プログラムは、個別化医療推進薬剤師、医療系薬学研究者、医療行政推進薬剤師、トランスレーショナルリサーチ推進研究者・技術開発者、レギュラトリーサイエンス研究者等の人材育成を目標としています。薬学研究者プログラムは、創薬研究・薬物治療の最適化などに従事する医療系薬学研究者、基礎系薬学研究者、環境衛生化学等研究者・行政担当者、製薬企業研究開発従事者等の人材育成を目指しています。



薬学研究科は「薬学に関する学術の理論および応用を教授・研究し、その深奥を究めて、広く医療の進展に寄与する」という理念の下、高度な医療を担う薬剤師、薬学の将来を担う研究者および指導的な人材の育成を目的としています。

## ■ 福岡大学大学院薬学研究科出身者の活躍状況

- 国公立大学院薬学部**
  - 福岡大学病院薬学部
  - 福岡大学筑紫病院薬学部
  - 山口大学医学部附属病院薬学部
  - 愛媛大学医学部附属病院薬学部
  - 九州大学病院薬学部
  - 佐賀大学医学部附属病院薬学部
  - 長崎大学病院薬学部
  - 熊本大学病院薬学部
  - 大分大学医学部附属病院薬学部
  - 宮崎大学医学部附属病院薬学部
  - 鹿児島大学病院薬学部
  - 産業医科大学病院薬学部
  - 久留米大学病院薬学部
  - その他
- 国公立大学教員**
  - 福岡大学
  - 九州大学薬学部
  - 岡山大学薬学部
  - 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部
- 帝京平成大学薬学部**
- 鈴鹿医療科学大学薬学部**
- 摂南大学薬学部**
- 武庫川女子大学薬学部**
- 就実大学薬学部**
- 松山大学薬学部**
- 第一薬科大学薬学部**
- 国際医療福祉大学福岡薬学部**
- 長崎国際大学薬学部**
- 崇城大学薬学部**
- 九州保健福祉大学薬学部**
- 長崎大学医学部**
- 産業医科大学**
- その他**
- 製薬企業など、主任研究員**
  - 塩野義製薬
  - 武田薬品工業
  - ツムラ
  - 大鵬薬品工業
  - その他

2025年度

# 入学者選抜概要

福岡大学入試情報サイト



## 個別試験を課す制度

※内容が変更になることがあります。詳細は必ず入学試験要項でご確認ください。

試験区分	主な出願資格	選考方法	試験内容および方法	出題範囲	出題期間	試験日	合格発表	入学手続締切日	試験地	
学校推薦型選抜	附属校	高等学校にお問い合わせください。								
	指定校	高等学校にお問い合わせください。								
一般選抜	A方式	●専願制 ●日本国内に所在する高等学校を2025年3月卒業見込みの者および2024年3月卒業生 ●出身高等学校長が学業成績・人物ともに優秀と認めて推薦する者 ●全体の学習成績の状況3.5以上の者	●学力試験 ●面接 ●書類(面接の参考資料)		11月11日(金)~11月8日(金)	11月24日(日)	12月6日(金)	入学申込金締切 12月20日(金) 入学手続締切 3月7日(金)	福岡大学	
	系統別日程			詳細は入試ガイド2025をご確認ください。		2月2日(日)			福岡大学 各地会場(東京、名古屋、大阪、広島、山口、高松、松山、北九州、大分、長崎、熊本、宮崎、鹿児島、那覇)	
	前期日程	●高等学校を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者 ●全体の学習成績の状況についての基準なし ※他大学との併願が可能	●学力試験			12月21日(土)~1月14日(火)	2月3日(月) 2月11日(火) [2回実施]	2月22日(土)	入学申込金締切 2月28日(金) 入学手続締切 3月7日(金)	福岡大学 各地会場(広島、山口、大分、長崎、熊本、宮崎、鹿児島) 2月11日 上記に加え、各地会場(東京、大阪、広島、高松、松山、北九州、那覇)
	後期日程					2月15日(土)~2月26日(水)	3月7日(金)	3月15日(土)	入学手続締切 3月21日(金)	福岡大学 各地会場(広島、鹿児島)

## 大学入学共通テストの得点を利用する制度

※内容が変更になることがあります。詳細は必ず入学試験要項でご確認ください。

試験区分	出願基準	選考方法	試験内容および方法	出題範囲	出願期間	試験日	合格発表	入学手続締切日	試験地
前期日程・共通テスト併用型	●本学の一般選抜「前期日程*」を受験した者 ●「令和7年度大学入学共通テスト」において、本学が指定する教科科目を受験した者	●本学の一般選抜「前期日程*」の指定科目の成績および「大学入学共通テスト」の指定科目の成績により判定			12月21日(土)~1月14日(火)	前期日程 2月3日(月) もしくは 2月11日(火)	2月22日(土)	入学申込金締切 2月28日(金) 入学手続締切 3月7日(金)	一般選抜「前期日程」の試験地
共通テスト利用型(I期)		●「大学入学共通テスト」の指定科目の成績により判定 ●個別学力試験は課さない	詳細は入試ガイド2025をご確認ください。		12月21日(土)~1月21日(火)	大学入学 共通テスト 1月18日(土)・ 1月19日(日)			—
共通テスト利用型(II期)	●「令和7年度大学入学共通テスト」において、本学が指定する教科科目を受験した者	●「大学入学共通テスト」の指定科目の成績により一次判定 ●面接(提出書類を活用)により二次判定			2月15日(土)~2月26日(水)	一次選考 合格発表 3月5日(水)	3月15日(土)	入学手続締切 3月21日(金)	福岡大学 (二次選考のみ)

\* 理科重視型を除く。

## 募集人員・競争率

入学定員	募集人数(2024年度入学者選抜における競争率*)								
	学校推薦型選抜	一般選抜							
	A方式	系統別日程	前期日程	前期日程(理科重視型)	前期日程・共通テスト併用型	共通テスト利用型(I期)	共通テスト利用型(II期)	共通テスト利用型(III期)	後期日程
230	25(2.5)	15(2.8)	90(3.2)	15(2.2)	7(2.9)	7(3.4)	7(3.3)	3(2.0)	7(4.8)

\* (受験者数) ÷ (合格者数)として算出

※内容が変更になることがあります。詳細は必ず入学試験要項でご確認ください。